

ファッションを考える、心と体の健康を考える



株式会社マリモ

代表取締役・HIBINO HONOKA

日比野 ほのかさん

ニーズに沿った
オンリーワンの商品を
国内外に「はばたかせる」

海外生産を軸に 自社ブランドを確立

当社は1956年に私の祖父が靴下の卸売業「日比野商店」として創業し、その後、法人化の際に社名を「マリモ」に改め、65年以上にわたり服飾業界に携わっています。

創業当時は国産品が多く流通していましたが、祖父は業界に先駆けて海外に生産拠点を求め、中国や韓国、タイ、カンボジアなどの現地工場と提携し「自社企画・自社ブランド」の製品を次々に生み出してきました。祖父は海外の提携工場に

足繫く通い、日本人が好む靴下の種類や規格について「から教え、現地の縫製技術向上に大きく貢献していたそうです。そのため、現地では今でも「日比野」という名前は「靴下の父」として知られた存在になっています。

当社は創業以来、自社工場を持たないファブレス企業として、商品開発や設計、マーケティングなどに力を入れてきました。これまではアパレル企業や通販、チーンストアなどがメインの取引先でしたが、昨今ではECなどでBtoCの取引も増え、お客様の声を直接反映した商品開発にも力を入れています。

24歳で祖父から事業承継

私は子どもの頃より「家族や社員を背負って立つ祖父の背中を実際に見てみたい」という思いが強かったため、大学在学中から当社の見習いとして、「丁稚奉公」をすることになりました。卒業後、祖父が高齢であったこともあり、「他社で修行を積む」というよりは、少しでも祖父の仕事に向ける姿勢を学びたいとの思いから、当社に入社する運びとなりました。

私が24歳の時に祖父が会社を勇退することになり、後継者について話し合うこととなりました。私自身、経験やスキルはありませんでしたが、「思い切ったことをしなければ、目まぐるしく世の中が変わる中で取り残されてしまう」との強い思いから、周囲を説得し事業を承継しました。

当時、業界最年少の社長ということもあり、周囲の信頼を得るために、靴下やデザインにまつわる様々な勉強をし「靴下ソムリエ」を取得するとともに、自身の夢のため「福祉用具相談員」などの資格取得にも努めました。また、国内外問わず取引している企業に挨拶にまわり、祖父のように周りに感謝し、真摯に仕事に取り組み姿勢を理解してもらえよう努めてきました。

そうした中、社長就任以来の夢だった「高齢の方や障がいのある方へ、機能性に優れ、おしゃれを楽しんでもらえる靴下

を届けたい」という思いを込めて、新ブランド「marimo」を立ち上げました。

創業から 変わらないもの、 変えていくもの

ここ数年は新型コロナウイルスの影響により、社会全体で外出の機会が減ったこともあり、業界全体で衣料品の需要が減少傾向にありました。また昨今の円安や原材料価格の高騰により、提携工場も大変厳しい状況が続いています。

そうした状況でも「自社ブランド・自社企画」という創業から変わらないこだわりを持ち続けるとともに、時代の変化に合わせた独自のビジネスモデルを確立していきたいと思っています。具体的には、生活の悩みや不便さをケアでき、心と身体両方のお守りとなるような商品や世の中へ広く届けていくことが使命だと考えています。これは、福祉施設と連携して業務委託や施設外就労という形で一緒に仕事をしていく中で、様々な困りごとを抱えた方と直接話をし、それぞれのニーズに合った商品を開発していきたいと思つたことが背景にあります。そのような方々に寄り添う唯一無二のブランドを持つマリモという企業をより多くの方に知ってもらおうべく、今後も国内外を問わず「靴下を通じて世界を変えていく」を胸に、展示会やポップアップショップなどへ積極的に参加し、この名古屋から海外進出を目指していきます。

Column

パートナー紹介 /

福祉施設との協業



現在、就労継続A型、B型事業所に施設外就労に来ていただいています。出荷作業に伴う値付け・検針や商品のピッキング作業と一緒に行動したり、商品開発サイドとしてアイデアを出し合ったりしています。

Company Data | 会社概要



株式会社マリモ

【創業】1956年
【所在地】名古屋市中村区畑江通8-19
【TEL】052-445-1260
【URL】https://marimosocks.com/
【事業内容】靴下など服飾雑貨の企画、卸売、小売



困りごとを抱えた方でも自力で履くことができるようなデザインや機能をもつ自社ブランドの商品。「ほのん」(写真上)は、後ろ側の持ち手を使って片手で履くことができます。「みちる」(写真右下)は後天的に目が見えず、点字がわからないという方でも色を理解できるように、文字をかたどった窪みが施されています。他にも、特別なシーンで使えるような高級感溢れた靴下を多数用意しています(写真左下)。